

シリーズ環境問題⑩・・・食と環境

食と環境。何から書こうか迷ってしまうほど広いテーマである。農業、自給率、食育、飢餓、土壌・水質汚染、等々キーワードはいくらでも上がる。それだけ多くの繋がりがあり、多くの問題を抱えているということだろう。食育については過去のグリーンズ川越で2度に渡り取り上げている。

農業では、民主党のマニフェストにもある農家への個別所得保障問題が最近クローズアップされているが、これは欧米で20年以上前から採られるようになった政策で、国内では滋賀県が「環境農業直接支払い交付金」という琵琶湖の水を守るために採られた制度を2004年度から行なっている。どちらも農家を個別に支援しようとする政策だ。国内の農業を守ることは田畑という場所が守られることであり、輸入に頼らないということは、輸送にかかるエネルギーは少なく済むということ(フードマイレージを減らすということ)でもある。この意味では自給率を上げるということも同じ意味を持つ。

農業と土壌・水質汚染の問題も当然関連している。最近でこそ有機農産物などへの意識も高まってきたが、これまで使ってきた農薬や除草剤、化学肥料などにより日本の土壌や水の汚染が各地で顕著化してきた。また、以前中国産農産物の問題が盛んに取り上げられた時期があったが、これらは日本人の特殊とも言える消費者意識も影響している。多くの日本の消費者は、他の国の消費者と比べて極端に見た目にこだわる。そのため、見た目が綺麗な農産物を作ろうと農薬を使い、規格に合わないサイズを捨て、

過剰な包装で店頭へ並べることになる。これをしなければ売れないのだから、農家に責任を押し付けるのは間違っている。

地球温暖化や砂漠化・水不足など地球規模の環境問題により食糧危機が懸念されている現在、世界全体では10億人近い人々が飢餓状態にあると言われている。規格外の農産物を捨て、食べ残し率世界一の日本の食事情は、非持続的である。訳あり商品が注目を集めていることに我々は何かを感じる必要があるのではないかと。「もったいない」という他にない言葉を生み出した民族とは思えない今の日本人は未来への岐路に立たされているのではないだろうか。

一方で健康志向やエコブームなどで安心安全な食べ物、健康を考えた食べ物を口にしたいと考える人は確実に増えている。それは環境保全型の農業(自然環境あるいは生態系と調和させつつ、経済的・社会的に持続可能な農業システム)を推進させることにも繋がる。また、ここに来て農業を見直す動きに拍車がかかってきた。サラリーマンだった若者が農業や漁業に魅力を感じ、儲からないと言われていた農業に企業が参入し、成果を上げている。学校給食は地産地消を出来る限り採り入れるのが当たり前になってきた。まだまだ多くの問題を抱えてはいるが(川越市でも農地は減り続けてるが)食に対する考え方は変わりつつある。意識の中で離れがちな「食」「農」「環境」がそれぞれ繋がりがつつあるように感じるのは私だけではないだろう。



掲示板

第11回 川口けいすけ議会報告会

日時・場所：1月23日(土) 13時30分～16時30分 ・ 古谷公民館1F(235-1834)

内容： 12月議会報告・視察報告・皆様からのご質問、ご意見等。

* どなたでもお気軽にお立ち寄り下さい。入退室自由・無料です。

第6回 弁護士による無料法律相談会

日時・場所：1月23日(土) 14時～17時 ・ 元 菊地 実 市議会議員事務所

(東上線霞ヶ関駅南口下車徒歩約5分。東京国際大学正門向かって左手、数件目。)

担当弁護士：川越市在住の藍谷先生

* ご相談は基本的に一人30分の完全予約制です。1月20日までに川口までご連絡下さい。

* 川口はご相談内容を伺いません。

* この機会に是非ご利用下さい。 連絡先(川口) 080-3025-5776



ご意見・ご感想、皆様の声をお聞かせ下さい。

★ ポスティング等ボランティア募集中! ★

提案型地域情報誌グリーンズ川越は、2003年より政治を身近にしていけるための活動の一つとして始め、2007年からは議員活動報告をプラスし、私の考え方と共に皆様にお届けしているニュースです。なお、手配りのためにタイムリーにお届けできない場合がありますがご了承下さい。バックナンバーはホームページで見ることができます。ご希望の場合はお届けします。

<http://k-k31.my.coocan.jp>